

浜松特別支援学校にマスクの寄贈をしました！



藤田源右衛門社長からマスクを受け取る山田浩昭校長。＝浜松市南区の浜松特別支援学校で

浜松特支児童らへ 中区「エネジン」

新型コロナウイルスの感染予防に役立ててもらおうと、LPガス販売の「エネジン」（浜松市中区）は十八日、浜松特別支援学校（南区）に不織布マスク七千五百枚を贈った。藤田源右衛門社長と社員が同校を訪れ、山田浩昭校長に手渡した。同校は二十五日から分散登校を開始する。寄贈品は同校の全児童生徒三百八十七人と、中区の城北分校、

磐田市の磐田分校の児童生徒、そして教職員に配布する。藤田社長は「マスクが予想以上に入荷できて余裕があった。少しでも役に立てれば」と話し、山田校長は「分散登校でも教員含めて常に百六十人が学校にいる状態なので、とてもありがたい」と感謝した。エネジンは浜松特別支援学校に加え、中区の浜松聴覚特別支援学校と浜松視覚特別支援学校に、計一万枚のマスクを寄贈した。

（大城愛）

2020年5月18日、浜松特別支援学校へマスク7,500枚を寄贈させていただきました。浜松聴覚特別支援学校への1,500枚、浜松視覚特別支援学校への1,000枚を合わせると、計1万枚の寄贈となります。今後も地域の皆様のお役立ちと、地域活性化するような活動を継続していきます。

令和2年(2020年)5月19日(火)

中日新聞掲載